

－ 情報工学府の特色ある教育プログラム －

【ICTアーキテクトコース】

次世代を牽引する情報システムの開発は、特に重要な産業分野ですが、本コースでは、産業界や他大学と連携して、この分野におけるリーダ的技術者となれる、高度な知識とスキルを備えたICTアーキテクトを養成します。長期インターンシップやPBLを通して、ICTに関わる最新技術や社会における情報技術の関わりあいや、実際の利用を学び、ICTアーキテクトとしての高度な技術力を身につけ、さらに、自ら課題を見つけ、計画に基づいて自律的にそれを解決する実践的なシステム開発能力を養います。

(連携機関)

- ・高度情報通信人材育成支援センター (CeFIL)
- ・九州経済連合会 (九経連)
- ・カーネギーメロン大学ソフトウェアエンジニアリング研究所 (CMU-SEI)
- ・九州大学大学院システム情報科学府情報知能工学専攻社会情報システム工学コース (QITO)

【需要創発コース】

実践的演習を通じて、新たな需要を創発できる人材の養成を目指すコースで、産学官協働による実践的な大学院教育プログラムです。コースの中核となる大学院実践演習では、提示される実際の問題に対応して、プロジェクトの立ち上げ、チームの形成、問題点の把握、課題の設定、ソリューション（解決方法）の提案、仕様書の策定、試作品の作成、納品に至るまでの過程に取り組みます。

(プロジェクトの具体例)

- ・コンビニエンス・ストアのサプライチェーン支援システム (流通コンサルタント)
- ・スクールバスのチケットシステム構築 (地元情報システム会社)
- ・地域医療連携支援 (病院)

【クラウドコンピューティングコース】 (Cloud Q9)

enPiTは、文部科学省「情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業」として、全国の大学が連携して、最先端の情報技術を実践的に活用できる人材の育成を目指す取組です。enPiTのクラウドコンピューティング分野では、大阪大学、東京大学、東京工業大学、神戸大学、九州工業大学の5大学が中心となって、クラウドコンピューティングの先端教育を実施します。

enPiTの一部である本コースでは、クラウドに関する情報技術に加え、PBLで必要となるソフトウェア開発手法、プロジェクトマネジメント手法についても学びます。夏期には、大阪大学、神戸大学等と合同で集中合宿を行い、また後期には遠隔PBLを実施します。

【グローバルインフォマティクスリーダーズコース】

国内外での英語による授業科目の履修や研究指導、海外の学術交流協定校（国立台湾科技大学大学院経営学研究科等）の講師陣による経営学の科目の修得、本学府の人文科学・社会科学系の専任教員による大学院科目の修得により、リーダーとして国際的に活躍できる高度情報技術者の育成を目指すコースです。